

平成26年度

静岡県立大学大学院 経営情報イノベーション研究科（修士課程）

試験問題

【専門科目】

情報系

◎試験開始の合図があるまで開いてはいけません。

(注意事項)

- (1) 試験時間は、9：30—11：00（90分）です。
- (2) 試験問題は、表紙を含めて4枚です。
- (3) 解答用紙は、2枚です。
- (4) 解答用紙は、すべて回収します。
- (5) 問題用紙は、試験終了後持ち帰ってください。

以下の問題 1 から問題 3 の中から、2 つの問題を選択して解答せよ。解答は、解答用紙に書くこと。

## 問題 1

次の(1), (2)に答えよ。答に至った経過も解答用紙の枠内に書くこと。

- (1) 大, 中, 小 3 個のさいころを投げるときに出る目を、それぞれ  $x, y, z$  とする。さいころは、どの目も  $\frac{1}{6}$  の確率で出るとするとき、次の間に答えよ。
- (i)  $x + y + z = 6$  となる確率を求めよ。
  - (ii)  $x^2 + y^2 + z^2 = 6$  となる確率を求めよ。
  - (iii)  $(x - y)(y - z)(z - x) = 2$  となる確率を求めよ。
- (2)  $x^n = 1$  の解を  $1, \alpha_1, \alpha_2, \dots, \alpha_{n-1}$  とおくとき、 $(1 - \alpha_1)(1 - \alpha_2) \cdots (1 - \alpha_{n-1})$  の値を求めよ。ここで  $n$  は 2 以上の整数とする。

## 問題 2

数値データが一列に並んでいるリストを考える。2 つのリスト (A, B と呼ぶ) と空のリスト (C と呼ぶ) に対し、以下の操作を行う手続きをマージと呼ぶことにする。ここで、リスト A, B には同じ数値は含まれないとする。

ステップ 1. リスト A, B のどちらかの要素数が 0 になるまで、以下を繰り返す。

- (a) リスト A と B の先頭の要素を比較し、値が小さい方の要素をリスト C の末尾に追加する。リスト C に追加された要素を、その要素を含んでいたリストの先頭から削除する。

ステップ 2. 要素が残っているリスト (仮に D と呼ぶ) に対して、要素数が 0 になるまで、以下を繰り返す。

- (a) リスト D の先頭の要素をリスト C の末尾に追加する。リスト C に追加された要素をリスト D の先頭から削除する。

また、次のアルゴリズムをマージソートと呼ぶこととする。

入力：異なる  $N = 2^n$  個の数値

アルゴリズム：

ステップ 1.  $N$  個の空のリストを生成し、各リストに入力値を 1 つずつ格納する。 $i = 0$  とする。

ステップ 2. あるリストの要素数が  $N$  になるまで、以下を繰り返す。

(A) 要素数が  $2^i$  のリストが無くなるまで、以下を繰り返す。

- (a) 空のリストを生成する。
- (b) 要素数が  $2^i$  のリストをランダムに 2 つ選択する。
- (c) (b) で選択された 2 つのリストと (a) で生成された空のリストに対してマージを行う。
- (d) (b) で選択された 2 つのリストを破棄する。

(B)  $i$  の値を 1 増やす。

ステップ 3. 要素数が  $N$  となったリストを出力する。

このとき、次の(1), (2), (3), (4)に答えよ。

(1) 次の 2 つのリスト A, B と空のリスト C に対しマージを行う。それぞれのリストの記述において、左側が先頭である。リスト A, B の先頭の要素の比較回数を答えよ。また、マージ後のリスト C も答えよ。過程を説明する必要はない。

- (a) リスト A: 3, 7, 1  
リスト B: 4, 2, 9
- (b) リスト A: 12, 3, 56, 13, 47, 98  
リスト B: 1, 46, 11, 100, 10, 96
- (c) リスト A: 4, 9, 1  
リスト B: 5, 7, 2, 6, 8

(2) 要素数  $m$  の 2 つのリストと空のリストがあるとする。これらのリストのマージに必要となる、リストの先頭の要素の比較回数の最大値と最小値を答えよ。理由も説明すること。

- (3) 8 個の数値 4, 2, 1, 0, 5, 3, 6, 7 に対して、マージソートを行った場合の処理過程を述べよ。マージを行う毎に、その時点でのリストをすべて記載すること。
- (4) マージソートで必要となる、リストの先頭の要素の比較回数が、高々  $O(N \log N)$  回であることを示せ。

### 問題 3

次の(1), (2), (3)に答えよ。

(1) A 群の用語のそれぞれについて、もっとも適切な説明を B 群から選択せよ。

A 群

- (a) イーサネット (b) FTP (c) DNS (d) HTTP (e) WAN (f) POP
- (g) プロトコル (h) DHCP (i) SSH (j) SMTP

B 群

- ア. 電子メールの受信時に用いられるプロトコル.
  - イ. 暗号化を行い、他のコンピュータを安全にリモートコントロールするためのプロトコル.
  - ウ. コンピュータ間でファイルを転送するためのプロトコル.
  - エ. コンピュータ間でハイパーテキストを授受するためのプロトコル.
  - オ. 距離的に離れた LAN どうしを、専用線などによって接続するネットワーク.
  - カ. ネットワーク上でコンピュータが通信を行う際の規約.
  - キ. ネットワーク内のコンピュータに、一時的に IP アドレスなどの必要な情報を取り扱うプロトコル.
  - ク. LAN で広く用いられているコンピュータネットワークの規格。通信媒体としてツイストペアケーブルや光ファイバなどを用いる.
  - ケ. 電子メールの送信時に用いられるプロトコル.
  - コ. ホスト名と IP アドレスの関連づけを行うためのシステムまたはサービスまたは「方法」.
- (2) パケット通信とはどういうものかについて説明せよ。また、現在、多くのネットワークにおいてパケット通信が用いられる理由について説明せよ。
- (3) インターネットにおいて用いられるプロトコルである IP (Internet Protocol) と TCP (Transmission Control Protocol) の役割について説明せよ。また、TCP と UDP (User Datagram Protocol) の相違について説明せよ。